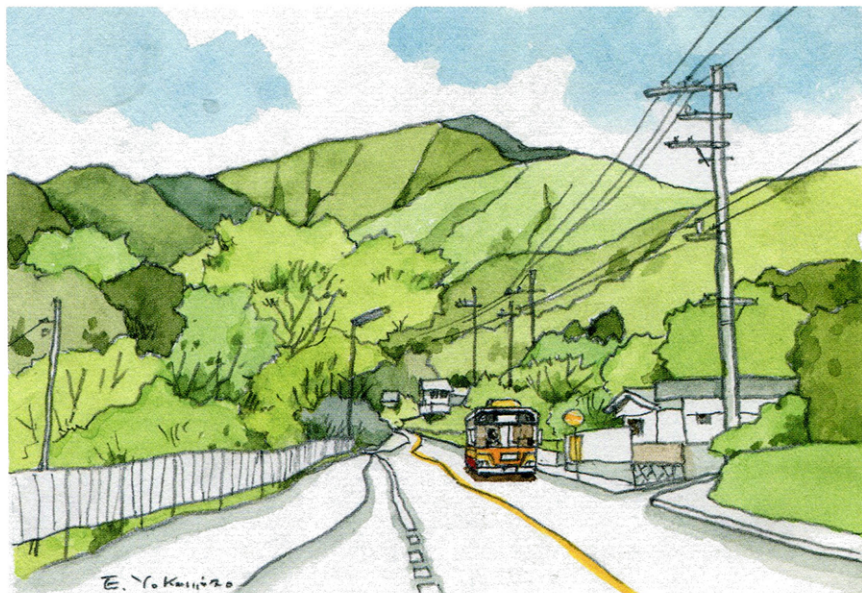


# 広陵



第41号 2012.8.11

神奈川県立秦野高等学校同窓会会報

## 平成23年度

### 総会報告

#### 小田原支部

柏木 勝 (高9回)

平成23年度同窓会総会が、8月21日(日)10時30分より小田原市民会館6階会議室で開催された。今回も南足柄支部の支援を戴きながら数度の打合せして開催に漕ぎつけたが、周知不徹底のためか出席者は49名にとどまった。

総会は、最初は先日逝去された廣澤副会長に対して黙禱が行われた。次に鈴木副会長の開催のことがあり、母校が学力向上指定校となったという市川副校長の来賓挨拶、柳川会長の挨拶の後、早速杉崎当支部長を議長として議事に入った。

平成22年度の事業・決算報告が行われ承認された。次に23年度の事業計画・予算の提



案が行われ、これも可決承認された。最後の規約改正については、規約検討委員会委員長の副会長の明快で詳細な経過報告と説明により可決承認され、梅原副会長の閉会のことばで締めくられた。

総会終了後写真撮影があり、場所を隣の会議室に移し、鈴木副会長の乾杯の発声で懇親会となった。アトラクションは藤木会による三味線合奏でなじみの民謡を皆で合唱した。最後は校歌斉唱となり、端山南足柄支部長が閉会をした。

## 平成24年度

### 総会報告

#### 秦野支部

榎本圭治 (高2回)

平成24年度総会は、7月1日(日)秦野商工会議所で90名の会員出席で開催。梅原副会長が開会を告げ、柳川会長挨拶、時乗校長の祝辞、渋谷秦野支部長が議長に選ばれ、議事は平成23年度事業決算の報告と監査報告があり拍手をもって承認。次に平成23年度全国大会支援金活動報告があり、新役員承認は規約検討委員長

の経過説明後に承認。畑野新会長の挨拶後、新役員の紹介、平成24年度事業計画・予算を承認。記念撮影後、県指定無形文化財「相模のさらさら踊り」出演・秦野さらさら踊り保存会20名の演技を鑑賞。午後は懇親会で90歳・89歳の大先輩OBのスピーチを聞く。

## 同窓会会報第41号目次

表紙 題字 宮本 信義 (中5回)  
スケッチ「学校までの道」 横溝 英一 (中20回)

平成23年度総会報告 小田原支部	表紙II
平成24年度総会報告 秦野支部	
ごあいさつ 同窓会会長・畑野公保	1
ごあいさつ 校長・時乗洋昭	2
ごあいさつ 同窓会前会長・柳川一朗	3
ごあいさつ 前校長・南 敏章	6
同窓会新会則・細則	7
平成23年度事業報告・決算報告	8
平成24年度事業計画・予算計画	10
表紙スケッチ	12
支部だより	13
同窓生寄稿	14
同期会だより	15
青春かながわ校歌祭 役員名簿	16
部活動の記録	17
全国大会支援活動報告	18
母校2011年度進学状況	19
叙勲・春の異動・物故者など	20

# 第十四代同窓会会長に

## 就任して

同窓会会長 畑野 公保



同窓会の皆様、ご健勝にてご活躍のことと推察致します。さて、平成24年7月1日に開催されました総会（秦野商工会議所）において第14代会長に就任させて頂きました。そしてその重責をひしひしと感じております。顧みますと同窓会の仕事に携わってすでに二十数年が経ちます。その間、柳川一朗前会長のもと、会報委員・会計担当委員・そして副会長と務めさせて頂きました。即ち皆様にご案内の通り、平成23年8月21日の総会（小田原市民会館）におい

て、新たに「秦野高等学校同窓会会則」が可決承認されました。平成21年1月に柳川会長から諮問を受け、同窓会運営委員会が設立され、3月までに3回に亘り組織、事業、財務等について慎重審議しその提言のもと、従来の規約を会則と改め大幅な機構改革を実現した次第です。先ずは第一に各支部（現在6支部）のより一層の活性化と充実を計る事が急務であると思います。一方母校に目を向けますと、今年には草創百二十六年・創立八十六年にあたります。長い間、諸先輩から引き継いで来た質実剛健の精神が脈々と受け継がれ、「文武両道の秦高魂」が勉学や部活動等に生かされています。年間6〜7回

は母校に伺いますが、そのたびに生徒達の礼儀正しい挨拶や、明るい自由闊達な姿を見ていると一瞬昔に戻ったような心地良い気持ちで湧いてきます。この校風がこれからも変わらず続いて行くことを願っ

## 「てっぺん」を目指す教育

校長 時乗 洋昭



4月1日付の人事異動で県立横浜悠悠館高等学校から異動して参りました時乗（とき乗）といひます。南校長の後を受け継ぎ、「文武両道」・「質実剛健」のもと、これまでの教育活動をさらに拡充・発展させて参りたいと思っております。

ています。今後とも母校に対する変らぬ熱いご声援と同窓会発展の為、ご指導ご協力をお願い致します。大変措辞ではございますが、就任のご挨拶とさせて頂きます。

秦野高校への着任に当たり、教職員及び生徒に向けて、「てっぺん」を目指せ」というメッセージを出させていたりました。

「てっぺん」を目指すには、常に今の自分に満足しないこと、常に高みを目指して全力で進むことが求められます。

「てっぺん」はそれを目指した者のみが立てるチャンスがあり、「てっぺん」に立つた者だけが見ることでできる世界があります。

先の見えない不透明な世の

中だからこそ、同窓生の皆さんがそうであったように、互いに助け合い、励ましあい、時に切磋琢磨しいながら、自らの「てっぺん」を目指すことが大切であり、次世代を担うリーダーにとって必要な素養ではないでしょうか。

同窓生の皆様、時間があるときは是非、学校に足を運んでください。そして、生徒に声をかけてやってください。生徒を叱咤激励してやってください。きっと生徒たちは、自分たちが多くの先輩の皆様温かく見守られていることに気づき誇りと勇気を得ることでしょう。

今後は学校・同窓会・保護者が一体となった教育活動がさらに重要になってきます。これまで以上のご支援をお願いします。私の着任の挨拶といたします。今後ともよろしくお願ひします。

## 在任中（11年5か月）の思い出

同窓会前会長 柳川 一朗



榮光の秦野高校同窓会会長を任期満了による退任に際し、一言ご挨拶を申し上げます。平成13年1月前会長小泉功氏の死去により、平成13年8月まで代行。その後、第13代会長に就任しました。この間、前会長の頃からすべて業務を代行した校内幹事（秦高卒の先生）が業務を扱わなくなったので、事務局一切を取り仕切った榎本圭治さんを始め、副会長・支部長・その他の役員のご協力で今日まで職務を果たすことができました。厚く御礼申し上げます。

次に在任中、まず第一に思出されることは、太平洋戦争中、先輩と共に汗を流した報国造林の作業のことです。昭和15年紀元二千六百年の記念事業として始まり、昭和46年同窓会へ移管され、枝打ちなどの管理一切を北秦野羽根森林組合に委託していましたが、財産区の方々のご努力で無事に返還できたことでした。第二は、平成18年の創立80周年記念のことです。学校・PTA・同窓会が一体となり、秦野市文化会館での生徒司会の記念式典、発表会。全員が唱った80周年記念歌は圧巻でした。展示会場では同窓会関係資料が展示され、学校へは教育機器など寄贈しました。第三には、生徒の部活動の大活

躍です。女子高校駅伝で全国大会に連続3回出場し好成績を、サッカーやバスケットは県でベスト4、ソフトテニス

は県代表と健闘しました。私の最後の仕事として、同窓会の内部の充実を計るため

## 秦野高校での3年間の思い出



3年前の3月末、住吉高校から秦野高校への異動内示を受けて、引き継ぎのために秦野高校へ向かった。緊張のため天気がどうだったか、寒かったかどうか、まったく記憶にない。ただだとも遠いところ、のんびりと懐かしいような印象だけがぼんやりと記憶に残っている

に規約改正に着手し、ようやく立派な会則・細則ができ上がったことに深く感謝致します。

終わりに、母校の発展と同窓会の隆盛を祈念致します。

前校長 南 敏章

宿矢名のバス停で下車、重たい足を引きずりながら正門に差し掛かったとき、「こんにちは」と凜とした声に続き、

「こんにちは」と実気持ちさつができる生徒がいるのかと少し驚いた。その後、正門から職員玄関、そして校長室までの短い間に、何人かの生徒に出会ったが、みな一様に

「こんにちは」と実気持ちさつができる生徒がいるのかと少し驚いた。その後、正門から職員玄関、そして校長室までの短い間に、何人かの生徒に出会ったが、みな一様に

のよい挨拶が続いた。この学校に異動が決まって良かった。素直にそのように思えた。もうひとつ、驚かされたのが、陸上競技大会、体育祭、マラソン大会等での秦高生の身体能力の高さである。特定の生徒の身体能力ではなく、

全体のレベルも非常に高い、それも驚くほどに。さらに大会等の運営が驚くほど、きびきびしていることである。これらのことは全県に誇って良いことだと思う。

3年間ほとんどいやな思いをすることもなく、富士山、丹沢の山々、弘法山にやさしく見守られながら過ごすことができた。

同窓会の皆さん、PTAの皆さんにも、叱咤激励はされなくても、お叱りを受けることはなかった。これも秦野という穏やかでやさしい土地柄のおかげと感謝している。



# 神奈川県立 秦野高等学校

## 同窓会会則

### (名称)

第1条 神奈川県立秦野高等学校同窓会は、通称広陵会（以下「本会」という。）と称する。

### (所在地)

第2条 本会の事務所は、神奈川県立秦野高等学校（以下「母校」という。）内に置く。

### (目的)

第3条 本会は、会員相互の親睦を図り、併せて母校の健全なる発展に寄与することを目的とする。

### (事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 会員相互の親睦に関する事業

- (2) 母校の発展向上に寄与する事業
- (3) その他本会の目的を達成するために必要な事業

### (会員)

第5条 本会の会員は、神奈川県立秦野中学校、同県立秦野高等学校併設中学校、同県立秦野高等学校の卒業生をもって構成する。

### (客員)

第6条 母校の現教職員を客員とする。

### (役員)

第7条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 会計 2名
- (4) 会計監査 2名
- (5) 支部長 若干名

### (役員を選任)

第8条 会長及び会計監査は別に定める役員選考委員会において会員の中から選考

し、総会において承認する。  
2 副会長及び会計は会長が指名し、総会に報告する。

3 支部長は、支部から推薦し、総会に報告する。

### (役員の任期)

第9条 会長及び会計監査の任期は3年とし、再任は妨げない。ただし、継続して2期までとする。

### (役員職務)

第10条 役員職務は、次のとおりとする。

- 2 会長は、本会を代表し会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 4 会計は、本会の会計業務を行う。
- 5 会計監査は、本会の経理及び執行に関する監査を行う。

### (幹事)

第11条 本会に、常任幹事と学年幹事を置き、任期は3年とし、再任は妨げない。

2 常任幹事は、各支部から5名ずつ推薦された会員及び支部のない会員の中から会長が推薦した者若干名で構成する。ただし、本部役員との兼務はできない。

3 常任幹事は、幹事会を組織し、役員会より提案された事業を推進する。

4 学年幹事は、卒業年次から原則1名ずつ推薦し常任幹事の下、本会の各事業の委員として事業を推進する。

5 常任幹事及び学年幹事に欠員が生じた場合は、後任幹事の任期は、前任者の残任期間とする。

### (顧問)

第12条 本会の発展に尽力した人を、顧問として置くこと

とができる。  
2 顧問は、役員会が推薦し、会長が委嘱する。

### (事務局)

第13条 本会に、会の事務を統括するための事務局を置く。

2 事務局は、事務局長等で構成し、会員の中から会長が指名する。

### (支部)

第14条 各地域に支部を置くことができる。

### (総会)

第15条 総会は、本会の最高議決機関であり、通常総会と臨時総会を開催する。

- 2 通常総会は、4月1日から90日以内に開催する。
- 3 臨時総会は、会長が必要と認めるときに開催する。

### (招集)

5 総会の議決は、出席者

の過半数をもって決する。  
6 総会の議長は、出席者の中から会長が指名する。

(会議)

第16条 役員会及び常任幹事

会は、会長が招集し、次の事項を審議又は検討を行う。  
2 役員会は、次の事項を審議する。

- (1) 総会に諮るべき事項
- (2) 本会の管理及び運営に関する事項
- (3) その他

3 常任幹事会は、次の事項を検討する。

(1) 役員会から提示された総会に諮るべき事項

(2) 役員会から提案された事業に関する事項

(3) 本会の目的を達成するための事項

(委員会)

第17条 本会の目的に沿って事業の運営達成を行うため各種の委員会を置く。

2 会長が必要と認めるときは、特別委員会を設けることができる。

3 各委員会の委員は、会長が委嘱する。

(会計)

第18条 本会の会計は、会費及び寄付金その他の収入をもって充てる。

2 本会の会計年度は、4月1日に始まり翌年の3月31日に終わるものとする。

(会費)

第19条 会費は、終身会費1万円とする。

附則

(施行期日)

1 この会則は、平成23年8月21日から施行する。

(経過措置)

2 この会則の施行の際に現に会長、副会長、会計監査、理事、幹事である役員は、この会則の

規定により選任されたものとみなして、この会則の規定を適用する。

神奈川県立

秦野高等学校

同窓会細則

第1条 神奈川県立秦野高等学校同窓会会則(以下「会則」という。)

第11条第4項の学年幹事は、神奈川県立秦野高等学校同窓会(以下「本会」という。)

の各事業の委員として事業を推進すると共に、本会と同学年会員との連携強化のための連絡・調整を行う。

第2条 本会に、会則第13条に基づいて事務局を置く。

2 事務局は、事務局長、事務局次長、書記、校内幹事、事務局員で構成し

会長が委嘱する。

3 事務局長は、母校及び会員との連絡・調整、会

議の招集事務、その他本会の庶務を行う。

4 事務局次長は、事務局長を補佐し、事務局長に事故ある時は、その職務を代行する。

5 書記は、会議の記録を執る。

6 校内幹事は、事務局次長及び事務局次長を補佐し、本会及び母校との連絡・調整を行う。

7 事務局員は、事務局長・事務局次長・書記等の職務の補佐を行う。

第3条 会則第14条に基づき本会に支部を置くことができる。

2 支部は、会則第3条の趣旨に基づいて支部会則定め、本会との緊密な連携の下に、必要な活動を行うものとする。

3 支部は、その名称、活動する地域、役員名、事

務所等に支部会則を添えて会長に届出する。

4 支部の新設、統合、廃止等は役員会の承認を必要とする。

第4条 本会に会則第17条第1項に基づき、次の委員会を置く。

(1) 総務委員会は、事務局と連携し会員及び母校との情報交換に努めると共に、会則等の改廃、会資産の管理・運営、各委員

会との連携、総会・役員会常任幹事会等の企画・運営等を行う。

(2) 名簿管理委員会は、事務局や母校と連携し、会員情報の的確な管理を行うと共に、名簿の整備、編集・発行を行う。

(3) 資料委員会は、歴史のある母校の資料収集と整理を行い、その管理と活用を行う。

- (4) 会報委員会は、本会の会報である「広陵」の編集・発行を行う。
- (5) ホームページ委員会は事務局と各委員会及び母校と連携し、ホームページの編集とリソースを行う。
- (6) 親睦事業委員会は、支部の活動支援、学年幹事と連携し、同期会や女性会員・青年会員及び各クラブ同窓会が企画した事業への活動支援を行う。
- (7) 母校支援事業委員会は事務局と連携し、母校の発展向上に寄与するため在校生の活動や母校が必要とする事業に支援を行う。
- (8) 校歌祭実行委員会は、かながわ青春校歌祭へ出演する会員や在校生を募り、校歌・応援歌等の練習等を行う。

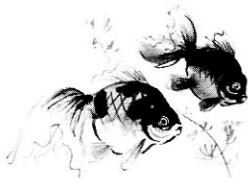
2 副会長は、分担して前項の委員会の運営に関与する。

第5条 会計は、基金を確実にする金融機関に預金して厳重に保管し、予算に繰入を要する場合には、役員会に諮って、会長の承認を得なければならぬ。

附則

この細則は、平成23年8月21日から施行する。

(注)この同窓会会則及び細則は昨年(平成23年)の総会において承認され、定められたものです。



## 神奈川県立秦野高等学校同窓会「広陵」の組織

会 長	副 会 長	委 員 会 名	委 員 長	委 員
	総務担当	総務委員会		学年幹事他
		名簿管理委員会		
		資料委員会		
	広報担当	会報委員会		
		ホームページ委員会		
	事業担当	親睦事業委員会		
		母校支援事業委員会		
		校歌祭実行委員会		

会計監査	
会 計	

事務局	事務局長	事務局次長	事務局員
	書 記		
	校内幹事		

### ○役員会・常任幹事会出席者及び参席者

役員会	会長、副会長、会計、支部長、会計監査
定例会 年4回	事務局長・事務局次長、書記、校内幹事、必要に応じて
臨時会 必要に応じて	委員会委員長が参席する。
常任幹事会	常任幹事
定例会 年4回	会長、副会長、会計、事務局長・事務局次長、書記、校
臨時会 必要に応じて	内幹事、必要に応じて委員会委員長が参席する。

## 平成23年度決算報告

## 平成23年度事業報告

### ◎歳入の部

自 平成23年4月1日  
至 平成24年3月31日

項目	23年度予算額	23年度決算額	増減	摘要
前期繰越金	2,376,956	2,376,956	0	
終身会費	3,500,000	3,676,739	176,739	3,489,479円 卒業生349人 187,260円 03終身会費
受取利息	14,000	5,583	△8,417	貯金利息
借入金	0	1,938,527	1,938,527	基金積立金より
雑収入	0	45,679	45,679	茅ヶ崎藤沢支部残金
合計	5,890,956	8,043,484	2,152,528	

### ◎歳出の部

項目	23年度予算額	23年度決算額	増減	摘要
会議費	275,000	312,024	37,024	
総会費	250,000	250,000	0	総会諸経費
役員会議費	25,000	62,024	37,024	会議飲物代
事業費	3,920,000	3,786,072	△133,928	
支部育成費	270,000	240,000	△30,000	6支部
同期会育成費	100,000	70,000	△30,000	
在校生活動振興費	1,000,000	1,055,374	55,374	
吹奏楽部助成費	100,000	100,000	0	
慶弔費	100,000	55,750	△44,250	
会報発行費	2,000,000	1,902,937	△97,063	広陵発行 (印刷、発送料)
校歌祭参加費	250,000	236,221	△13,779	
ホームページ運営費	100,000	125,790	25,790	パソコン購入費
事務費	200,000	92,950	△107,050	
事務局費	160,000	48,528	△111,472	事務用消耗品
通信費	30,000	36,158	6,158	郵送代
印刷費	10,000	8,264	△1,736	コピー代
借入金	0	1,938,527	1,938,527	
予備費	1,495,956	0	△1,495,956	
合計	5,890,956	6,129,573	238,617	

前期繰越金 23年度収入額 23年度支出額 (今年度収支差額)  
2,376,956 5,666,528 6,129,573 △463,045

次期繰越金 1,913,911 同窓会積立金残高 34,500,000

平成23年度秦野高等学校同窓会の会計収支決算について、関係帳簿及び書類等を審査した結果、正確・公正に処理されていることを認めます。

平成24年5月28日  
会計監査 清田宰宏  
会計監査 多田重雄

### 1 総会

- 8月21日 (日)  
小田原市民会館

### 2 役員会

- 5月21日 本部役員会
- 6月11日 本部役員会
- 7月3日 正副会長会
- 7月4日 会計監査
- 7月23日 本部役員会
- 7月23日 幹事会
- 9月17日 本部役員会
- 10月15日 本部役員会
- 12月10日 本部役員会
- 2月19日 本部役員会

### 3 役員選考委員会

各支部長より推せんされた16名により  
新会長・新会計監査を会長に推せん  
10月29日・11月13日・11月27日会議開催

- 4 現本部役員と新本部役員予定者との懇談会3月11日、4月28日開催
- 5 会報「広陵」40号発行・配布
- 6 支部育成6支部に活動費を助成
- 7 同期会育成7同期会に祝金贈呈
- 8 第6青春かながわ校歌祭に参加  
期日 9月23日 会場 神奈川芸術劇場  
参加者 同窓会員28名  
学校・生徒・先生19名  
合唱曲目 校歌・第一応援歌  
煙草音頭 (踊り付)

### 9 在校生への活動支援

- 校内マラソン大会、湯呑茶碗贈呈
- 吹奏楽部助成

### ● 県・関東・全国大会出場支援

- 10 伊勢原・秦野地区同窓会連絡協議会に参加  
期日 7月31日 会場 伊勢原「こみや」  
参加者 秦野・秦野屋屋・秦野総合・伊勢原・伊志田の各校同窓会役員・校長 30名参加  
各校同窓会の現状報告と意見交換と懇親会

左記のとおり報告します。

平成24年7月1日

会長 柳川 一朗  
会計 久保寺富男  
会計 菊籠 光男

## 平成24年度予算

### ◎歳入の部

自 平成24年4月1日  
至 平成25年3月31日

項目	23年度決算額	24年度予算額	増 減	摘 要
前期繰越金	2,376,956	1,913,911	△463,045	
終身会費	3,676,739	3,500,000	△176,739	
受取利息	5,583	5,000	△583	
借入金	1,938,527	0	△1,938,527	
繰入金	0	3,000,000	3,000,000	特別会計積立金を取り崩し繰入
雑収入	45,679	0	△45,679	
合 計	8,043,484	8,418,911	375,427	

### ◎歳出の部

項目	23年度決算額	24年度予算額	増 減	提 要
会議費	312,024	320,000	7,976	
総会費	250,000	250,000	0	総会諸経費
役員会議費	62,024	70,000	7,976	会議飲物代
事業費	3,786,072	3,490,000	△296,072	
支部育成費	240,000	240,000	0	6支部
同期会育成費	70,000	100,000	30,000	
在校生活動振興費	1,055,374	700,000	△355,374	
吹奏楽部助成費	100,000	100,000	0	
慶弔費	55,750	100,000	44,250	
会報発行費	1,902,937	1,900,000	△2,937	広陵発行(印刷、発送料)
校歌祭参加費	236,221	250,000	13,779	
ホームページ運営費	125,790	100,000	△25,790	
事務費	92,950	200,000	107,050	
事務局費	48,528	150,000	101,472	事務用消耗品
通信費	36,158	40,000	3,842	郵送代
印刷費	8,264	10,000	1,736	コピー代
借入金	1,938,527	0	△1,938,527	
予備費	0	4,408,911	4,408,911	
合 計	6,129,572	8,418,911	2,289,338	

## 平成24年度事業計画

- 1 総会・幹事会・役員会・各種委員会の開催
- 2 会報「広陵」第41号の発行・配布
- 3 第7回青春かながわ校歌祭に参加  
平成24年11月25日(日)  
神奈川芸術劇場
- 4 支部育成と同期会育成
- 5 在校生への活動支援と交流  
活動費助成・全国大会等への派遣費助成・学校事業への参加
- 6 秦野・伊勢原地区同窓会  
連絡協議会への参加



表紙スケッチ

「学校までの道」  
横溝英一(中20回)

大山の麓、東秦野糞毛に住むものは、標高差三百メートルの坂道を毎日通学している。現在はバスが使えるが、會(まち)では未明に起き出でて学校までの道を歩く。みんなよく歩いたものだった。  
私などは小型バイクの力を借りないと、昔の通学路を訪ねることなどできない。





## 支部分り

## 秦野支部

渋谷富治夫（中16回）  
毎年、親睦を図りつつ研修会から始まります。名所旧跡を見学して楽しい一日です。

本年は、千葉県南房総を探索し、有意義な一日を過ごしました。

7月は、広陵を各地区に配布し、地区育成費として地区ごとの交流を深めています。

9月の支部総会は多数の参加で行われました。今年には役員改選時期に当たり、本部の規約改正により、11月に支部での構成役員を改選し、副会長・支部長・監事が新規一転し、これからのますますの親交と結束を固めるべく、人選がなされました。これから

の秦高の一端を担いながら支部発展の向上を図ることとなり、一年を終了しました。

ひと言申し上げますが、広範囲に散在して難しい面もありますが、もつと多くの新支部の発足を望みたいと思えます。多くなるほど、お互い知り合い、そこから結束も固くなると思えます。

秦高卒業生の誇りを持って、愛校心を一生、永く持つていただきたいと思えます。

## 平塚支部

出縄高昭（高19回）

平成24年6月16日、ホテルサンガーデンで支部総会の開催準備を進めている最中に、原稿依頼が届きました。

一昨年は、支部育成金を活用して「秦高平塚支部ニュース」の創刊号を発行し、好評でした。昨年は、小田原で開催された本部同窓会や、第6

回青春かながわ校歌祭、また秦高での職業人講話等の参加を事業報告する予定です。

当支部では、支部の細分化が図られている中、むしろ広域化を目指し大磯・二宮地区に在住で、積極的な同窓会活動を希望している卒業生を、試行的に当支部に在籍していただき、今年度から新たな同窓会活動を計画しています。

また、地区世話人の高齢化に伴い、新規地区世話人をお願いした結果、20・30代を含めて、この2年間で50人の新地区世話人を選任できた事は、平塚支部の将来に明るいさざしを感じています。

本校同窓会元副会長・当支部顧問の荒井権八氏（中17回）（法名「天岳院積徳権道秋観大居士位」）がお亡くなりになりました。荒井氏から薫陶を受けた卒業生は、数知れずと伺っています。私もその中

のひとりです。氣宇壮大であられた荒井氏を偲び、ご冥福をお祈り致します。

## 東京支部

飯尾美甫（高8回）

東京支部は、他の支部と異なり、2年に1度の会員相互の親睦を図る総会（懇親会）が唯一の活動です。

昨年の14回総会は東日本大震災の直後で、やむを得ず中止となりました。副支部長の矢代隆助氏（高10回）のご尽力で寄席芸が予定され、出席者も50名余、盛大に開催されるはずでした。

支部発足以来、会員は、有志ということでしたから、総会のご案内は10年前の支部の名簿を訂正・補足しつつ送らせていただいています。本年度は、第15回総会を開催する年です。役員会で決定次第、ご案内いたします。皆

様お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願いいたします。

なお、本部組織改革により、副会長・支部長の兼任が困難になりました。三役で協議し、副支部長の長沢孝治氏（高13回）を副会長に推薦させていただきますました。また、常任幹事は支部事情から辞退させていただきますました。ここにご報告少々、皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

## 南足柄支部

端山昭夫（中18回）

南足柄支部は、平成8年に設立されました新しい支部ですが、それから16年も過ぎましたが、設立当初は会員78名でしたが、平成24年現在167名と増加し、学区制が無くなった現在、ますます多くなる傾向にある状況です。

当支部では、年1回支部総

## 小田原支部

額田幸也 (高5回)

小田原支部第4回総会・懇

親会は、4月24日「だるま」

会を開催しており、会員による講演会や地域を知る見学会、また会員相互の和を結ぶ親睦会等を行いつつ、会員の輪を広げるように努めてきました。が、どうしても定年退職された人々の集まりの域を脱することができません。

そこで、本年度より支部役員若返りを図っていくことにしました。これを機会に、

若い会員も参加できるような行事等を考え、支部の活動を活発にしていけることができ、幸いです。

それは、多くの人々といろいろな話しをしながら、自身自身の人生の歩き方を考えていくことにより、より楽しい毎日を過ごすことに繋がることになれば幸いですと思っております。



平成23年度秦高同窓会総会が小田原会場ということで、南足柄支部と合同で準備しました。両支部は、以前から全国高校駅伝の送迎会を小田原駅で実施し、選手団を励ましてきました。今回は21年、22年度神奈川代表(女子)だったので、総会でその感激を両支部で皆さんに伝えて盛り上げようと、ちょうどある支部員が神奈川大会優勝のゴール瞬間を絵に描いたので、総会会場で披露しようと考えました。

総会ではなかなかの好評で、その絵は即座に柳川会長のご要望で、学校へ寄付することとなりました。



忘年会で支部の絆を強めまして、年度末には、反省を含めて、

旅を楽しむことにしました。「研修旅行」では、山梨リニア実験線を見学してきまし

## 伊勢原支部

小野田久男 (高4回)

秋深まる11月19日、同窓会

伊勢原支部のバス旅行が実施されました。支部長の瀬戸洋四郎さん、招待ありがとうございます。幹事の吉野富夫さん、ご苦労様でした。

2011年は大変な年でした。春3月とは言え、東北地方は雪が舞い、まだまだ寒い

など話の外でした。地元ガイドは慰めの言葉か「この雨で木々について埃が洗われて綺麗な紅葉が見られたのでは」と、素直に頷けない物言いでした。それでもバスの中では年齢差はあっても同じ釜の飯を食った仲、話も弾み皆さん楽しんでようです。

た。車両基地が設けられ、日常の車両保守や車両に取り付けられた超電導磁石の点検等を行っているそうです。

「親睦旅行」の部では、昇仙峡へと山の景色を観に出かけましたが、運悪く当日は風雨が強く、溪流が花崗岩を削り取った奇岩奇石の美しい渓谷を十分堪能できずに残念でした。ロープウェイでの山頂も悪天候で視界悪く紅葉見物



# 同窓生 寄稿

## 旧制中学校の

### 想い出 鈴木勲二(中20回)

豊かな自然と、温暖な気候に恵まれた中井の地に生れ、育ち、大山阿夫利のみふところに抱かれた県立秦野中学校に、13歳から18歳までの青春多感な5年間を学んだ。

私の叔父も奈珂中、私の従兄弟たちも、私の弟たちも3人も学んだ。

日米開戦の翌々年に旧制中学校に進んだため、「広畑ヶ丘」での生活は、当時の国策もあって、学ぶことはおろか、入学早々から教練、勤労奉仕、工場動員の連続であった。菩提の学校造林の雑草刈り、冬の凍てつくような伊勢原耕地

での暗渠排水の土木作業、戦火烈しく、出征農家の働き手不足から、泊り込んでの援農動員、敗戦直前の6月からは横浜釜利谷の海軍工廠への工場動員では、連日連夜の空襲と、地下防空壕で聞いた玉音放送で終戦を迎えた。

米軍の進駐と、日本占領。財閥解体、農地開放等、急激な民主化の波、戦後の混乱とインフレのなか、旧制中学校の最後の卒業生として、大学に進んだ。

卒業して60年余、傘寿を迎えたいま、恩師はもとより、約半数近い仲間がいなくなり寂寥感このうえない。

## 秦野中学の

### 想い出

#### 宮永正巳(中20回)

私は昭和18年から23年まで旧制秦野中学校で学んだ。その間、食糧難があり、文具・

衣類・ズック靴も不足した時期があった。3年生までは太平洋戦争の最中、私達は勝利を固く信じて勤労動員に出掛け、授業は教練、武道が主であった。勿論テレビはなく、新聞は何種類もあったが、わが家では値段の安い神奈川新聞を取っていた。私は祖父の家で成長した。学校の近くの生徒は、空襲警報の時には学校に駆けつけ警備するという役目があり、私はその一人だった。夜間の時は、暗い夜道を台町から河原町、中野才ヶ分を経て学校に向った。途中秦野市内の同級生や、二宮や市内から自転車通勤する先生に出会うと敬礼し、約30分まで雨天体操場についていた。時には何十機の編隊を組んだB29が東京目指して頭上高く飛んでいったのに遭遇した。友人は平塚の空襲で被災した。

その後60年以上の年月が過

ぎ、80才を越えた今、あの時代の体験を通して、私達には子や孫にこのような経験を決してさせたくない、と思う。また国際社会が大きく変動する現代において、もう一度憲法の趣旨を再認識する必要を痛感する。

私は、秦高健児の力強さとたくましさを次世代後世に伝えたい。夢と希望のある君たちの若い力を信じている。

## 校歌

### 須山和成(高3回)

秦高の校歌は、その前身である奈珂中学校で昭和6年(1931)に制定されたもので、作詞葛原鹵、作曲小松耕輔である。

平成19年3月、葛原の郷里広島市の神辺町の有志が、葛原の業績を顕彰するために、原作用詞の校歌を集めていると

いう新聞記事があった(日経3月15日)。その活動の中心となった佐々木龍三郎氏によると、葛原は東京高等師範学校を卒業して教職にありながら童謡を数多く作詞して、評判が高くなったので、校友を通して校歌の作詞を依頼されるようになり、作詞を委嘱した学校の範囲は、当時の内地のみならず、朝鮮、台湾、満州、中華に及び、総数は約4百にもなったそうである。

佐々木氏によれば、葛原は作詞を依頼されると、学校の周辺の地勢を研究して、それを巧に歌詞にのみ込んだそうである。そう云われれば我々の校歌にも「相模大野の末遠く」(地形そのもの)「桂の薫る鳥(江の鳥を思わせる)」「芙蓉(富士山)」「阿夫利の山」(大山)などの詞が見られる。新聞記事に対して私は、秦高80周年記念誌の表紙に複製

された葛原の自筆と思われる歌詞と楽譜などを佐々木氏に送ったところ、お返事を頂いた。それによると、奈珂中学校の校歌制定の記録が葛原家に残っており、秦高も協力して資料を送っていたようであることがわかった。

更に佐々木氏は、英国の例として、親子三代にわたって読み継がれて初めて読むべき絵本として認められるということ、校歌は校名や組織の変更などで変えられることもあり、制定当初から歌い継がれるものは多くない。三代歌い継がれて本当の校歌伝統のある学校と認められると云えるかも知れない、とのことであった。

私は校歌集の全国版が市販されるのを待ったが市販されず、版元から取り寄せた。この本は学校の図書室にも寄贈

されたと思われるものがある。同窓生の中には、親子三代にわたって同じ校歌を歌った人もいると思うが、前記佐々木氏の評価のようであれば、在校生も誇りをもって歌ってもらいたいと思う。

懐古

— 遠い日の幻影 —

小野田久男(高4回)

伊勢原地区の同期生が集まったおり、誰云うともなく昔の通学路を歩いてみないか、との話が出て、散歩かたがた健康にもいいか、と云うことで4月10日に実施した。

当日は、好天に恵まれ絶好の花見日和となり10時に大根駅(現在は東海大学前駅)に集合。この駅は私たちが通学していた60数年前は駅前広場もなく、未舗装の道には桜が咲き、道の両側は少し落ち込んだ田圃で、商店と云えば薪

や炭や子供相手の駄菓子を通っていた高橋商店と床屋(とこば)があるぐらい、電車も上りは、1時間に26分と54分の2本だけ、うっかり乗りそこなうと30分待たなければならず、時間をもてあました悪童たちは、若い駅員をからかうのを楽しみにしていた。電

鉄管理の公衆トイレに「美しさ誇る富士よりこの便所」の俳句らしきものが貼り出されていた。これを見た生徒たちが、これどういう意味だよ、説明しろよ、と、からかうと「俺が書いたのではねえよ、俺はただ貼っただけよ」と、若い駅員はムキになる、そこ

が、たまらなく私たちが満足させるのである。今では、立派な駅に生まれ変わりはたただ呆然。先ずは、こうした駅からスタートした。学校までの通学路は昔とは大部違っているようで勿論昔

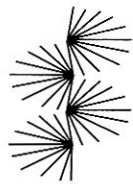
の道を迎えることにした。途中あった踏切も現在は閉鎖され、轍(わだち)の出来た道路も舗装され、線路を挟んだ反対側、即ち、現在の通学路は、以前は田圃であったところにスナックや商店が散見され、その裏側は住宅が密集していた。

また、前田夕暮の生地も目立たぬところに小さな石碑が建っているのみで少し寂し過ぎるようだ。60年以上前の長閑な田圃風景は、開発の波に押し流され、その面影はない。そして、学校の間近に蔽しい山道があり、ここは九十九折りの急坂は、我々が通っていた頃は、赤土で滑りやすく木の根が道路のあちこちに顔を出し、特に雨の日は難儀した記憶がある。現在は舗装され手摺まで付けられていた。

ここを登りきると学校の正門前に到着ヤレヤレと心地よい

汗を拭う。しかし、秦高の桜は昔と変わらず満開で、年老いた私達を「いらっしやい、ご苦労さまと迎えてくれたような気がした。桜の木にむかつてオマエも年をとったなと、ねぎらいの言葉をかけてやりたい心持だった。

また旧雨天体操場横のプラタナスも我々と同じ年を重ね老木をさらしていた。校庭に立って、西、北、の方を眺めていると、少し感傷的になるが、夕映えの下校時などに、弘法山の鐘の音、祭りの太鼓の音が懐かしく思い出された。後輩達に思いを馳せ、年寄りの思い付き感傷の道行きの結びとしたい。



# 同窓会だより

## 通学の雑感

井上 薫 (高一回)

学制改革の所為で6年間通学し、中4、中5、高一と、三度も卒業した。広陵に寄せられる文章が多感な時代を瞬時に甦らせてくれる。同窓会名簿の始めに旧友達の名前が並んでいるのが懐しく嬉しい。当時学区は広く、山北松田平塚二宮、愛甲と秦野一円から電車・バス、自転車・徒歩とよくも通ったものである。旧秦野町在住者は徒歩と決められ南秦野は自転車で、距離は僅かしか違わないのに不公平だと騒いだこともあった。履物は下駄で、堅くて重い材質で作ってあっても、砂利道では一カ月でベシヤンコにな



って、足の小指をよく打つけ、爪が今も変形したままである。広陵の表紙絵のとおり、通路の沿線の佇いは変化が著しいが、山河の風景は堂々と不動、校歌そのものである。中3年生の夏に釜利谷の海軍工廠に勤労働員され、空腹でまいつている最中、宿舎に一台のラヂオで王音放送を聞いた。雑音だらけで意味不明だったが、天皇が国民を激励されたのだらうと噂し合った。軍隊に志願もできたが幸い

戦争での欠員はない。混乱のなか家に帰着し、学校も再開されたが、連絡等がどのように行われたか思い出せない。

同期会は数十回重ねてきたが、卒業60数年を経て、紅顔の少年もクたびてきた。それで日時場所を予め決め、各自勝手に集合することにした。幹事を設けず案内も省略である。

1回目平成23年の参加者は17名。趣旨が徹底しなかったのかも知れない。今回は口コミも使って何とか盛大に催したい。



## 六年ぶりの再会

相原宏道 (高9回)

昨年11月13日、高校9期の同窓会を箱根・湯本富士屋ホテルにて開催した。

当日は好天に恵まれ、おだやかな秋日和のなかを25名が参集した。

参加者全員で先に記念写真を撮影してから開会した。

前回の開催(平成17年)から6年ぶりの開催である。

また、昭和32年3月の卒業より54年が経過したわけであるが同期生の年令も72・73歳となり70の大病を超えてしまった。

会は鈴木君が進行係を担当して最年長の野口君の音頭に乾杯から始められた。佐野君が今回の開催の経緯を報告、続いて各自が近況を語った。退職後の人生を地域社会で活

動している者、趣味の版画を楽しんでいる者、読書会に参加している者など充実した毎日を送っているようである。各テーブルでは思い出話や近況の話で盛りあがっていた。女性は5名が同期生であるが、2名が参加して会場を明るくしてくれた。

校歌を合唱し、再会を約して散会した。

出欠の返事のがガキで、欠席の理由に「体調不良」が多かった。健康保持に留意したものである。





## 第7回青春 かながわ校歌祭へ 参加しましょう！

校歌祭実行委員 関恒久

県内の新制高校・旧制中学校等の校歌・応援歌等の伝承及び振興を図り、卒業生と在校生の交流と親睦を増進する為に始まった校歌祭は、今年で7回目を迎えました。

同窓会員の皆様、青春時代を思い出し、母校の校歌・応援歌を歌いませんか。

○開催日 11月25日(日)

○会場 神奈川芸術劇場  
(横浜市中区山下町)

○練習日

10月27日(土) 10:00～12:00

11月10日(土) 10:00～12:00

11月17日(土) 13:30～15:30

練習会場は、母校視聴覚室

で行います。上演曲目は、校

歌、第一応援歌、童謡夕日です。

## 神奈川県立秦野高等学校同窓会本部役員名簿

任期は平成24年4月～27年3月

役職名	氏名	卒業期	住所	備考
顧問	柳川 一朗	高1	秦野市	
会長	畑野 公保	高7	伊勢原市	
副会長	青木 利之	高4	秦野市	
副会長	苅籠 光男	高16	伊勢原市	
副会長	関 恒久	高19	平塚市	
副会長	石田 邦雄	高7	小田原市	
副会長	大庭 進	高7	南足柄市	
副会長	長沢 孝治	高13	東京都中野区	
支部長	榎本 圭治	高2	秦野市	秦野支部
支部長	瀬戸洋四郎	高15	伊勢原市	伊勢原支部
支部長	出縄 高昭	高19	平塚市	平塚支部
支部長	柏木 勝	高9	小田原市	小田原支部
支部長	関 操	高4	南足柄市	南足柄支部
支部長	飯尾 美甫	高8	東京都新宿区	東京支部
会計	能條 剛	高17	伊勢原市	
会計	久保寺 富男	高11	秦野市	
会計監査	多田 重雄	高10	伊勢原市	
会計監査	飯田 重明	高16	平塚市	
校内幹事	北村 輝夫	高24	秦野高校内	
校内幹事	高田万友美	-	秦野高校内	
事務局長	田中 信一	高18	伊勢原市	
事務局次長	高梨 剛	高34	伊勢原市	
事務局書記	高橋 和行	高40	伊勢原市	
事務局書記	瀬戸 紀彰	高44	伊勢原市	

### 同期会への祝金

平成23年度贈呈同期会

中17回 柳川三郎 (24名参加)

中19回 中島圭一 (17名参加)

中20回 井上 薫 (17名参加)

高1回

中21回 与野主計 (41名参加)

高2回

高6回 浅田忠男 (26名参加)

高9回 相原宏道 (25名参加)

高15回 瀬戸洋四郎 (32名参加)

同期会を開催する場合、同窓

会から祝金1万円を贈呈。

手続きは(A4判1枚)の実

施計画書・実施報告書を提出。

●伊勢原市桜台1-36-12

田中信一(事務局)

●平塚市明石町28-9

メゾン湘南302

関 恒久(副会長)

●秦野市ひばりヶ丘5-23

榎本圭治(支部長)

090-2930-6961

0463-81-7382

## 平成23年度 部活動の記録 (県大会以上)

部活動名	大会名	結果	部活動名	大会名	結果	
陸上競技部	全国高校総体	女子1500m 出場	剣道部	玉竜旗高校剣道大会	男子団体 出場	
	東日本女子駅伝	神奈川県選抜 優勝		関東大会県予選		女子個人 ベスト16
		6区 2位				女子個人 ベスト32
	関東高校総体	7区 2位				男子個人 ベスト32
		女子 400m 8位				男子個人 ベスト32
		女子1500m 6位				女子団体 ベスト16
		女子3000m 7位				男子個人 ベスト16
	関東高校駅伝	女子3000m 15位		全国大会県予選		女子団体 ベスト16
		女子 6位				女子個人 ベスト32
	全国総体県予選	女子 400m 4位		新人戦		女子団体 ベスト16
		女子1500m 2位	県高校テニス大会			女子シングルス ベスト16
		女子3000m 2位				女子シングルス ベスト32
		女子3000m 5位				女子ダブルス ベスト32
		神奈川選手権		女子 400m 4位	女子ダブルス ベスト64	
県高校駅伝	女子 2位			女子団体 ベスト8		
バスケットボール部 (男子)	関東大会選手権	男子Bグループ 準優勝	硬式テニス部 (男子)	関東大会県予選	男子団体 ベスト32	
	関東大会県予選	男子 5位	ソフトテニス部 (女子)	関東大会	女子個人 出場	
	全国総体県予選	男子 ベスト8		関東大会県予選	女子個人 ベスト16	
バスケットボール部 (女子)	新人大大会	女子 2回戦	ソフトテニス部 (男子)	国民体育大会県予選	男子個人 ベスト8	
				全国総体県予選	男子団体 ベスト8	
弓道部	関東個人選抜	女子 出場	野球部	選手権大会県予選	1回戦	
	県民大会	男子個人 3位		秋季県大会	1回戦	
	兼国体予選	女子個人 5位	卓球部	関東大会県予選	男子団体 ベスト8	
	全国総体県予選	男子個人 5位		山岳部	県総体兼 関東大会県予選	参加
		女子団体 6位	チアリーダーディング部		VSU2011千葉大会	チアリーダーディング 4位
	関東個人選抜県予選	女子個人 12位	吹奏楽部	神奈川アンサンブル コンテスト	Per7・F13 出場	
	新人戦	女子個人 5位		かるた部	第81回全国競技かるた学生選手権大会	C級個人 優勝
	全国選抜県予選	女子団体 5位	第23回高等学校かるた大会		3位	
バレーボール部 (男子)	関東大会県予選	男子 出場	第44回神奈川かるた大会		D級個人 優勝	
	新人大大会	男子 ベスト32				



# 母校2011年度 —平成23年度の進学状況と 今後の取り組み—

キャリア教育支援グループ 近藤幹雄

平成23年度卒業生3557名の進路状況を中心に報告します。

4年制大学への進学者268名、短期大学への進学者12名、専門学校等への進学者22名（海外の大学進学準備4名を含む）、就職者1名、進学準備者54名となっています。

この年度の特徴としては、

専門学校等への進学が増え（昨年は8名）その分進学準備者の数が減った（一昨年度は66名）ことです。これは長引

きました。微減とはいえ、この数字は大学・短大進学者全体の3割弱を占める大きな数字となっています。

年度の3年生はこれまで以上に進学実績が目されることと思います。一方で本校では「キャリア教育プログラム」にも

く不況の影響が考えられます。昨年度の卒業生は一昨年度と同様のクラスでした。国公立

の、名古屋大学理学部への現役合格は見事でした。また、私立大学では早慶上智MAR

とついで、高校三年間を通じて生徒が自分自身を理解し、さまざまな情報を集め、将来設計を考えた上で自分の進路を考

の、名古屋大学理学部への現役合格は見事でした。また、私立大学では早慶上智MAR

傾向がみられる点が指摘されています。また、本校のよう

とついで、高校三年間を通じて生徒が自分自身を理解し、さまざまな情報を集め、将来設計を考えた上で自分の進路を考

の、名古屋大学理学部への現役合格は見事でした。また、私立大学では早慶上智MAR

傾向がみられる点が指摘されています。また、本校のよう

とついで、高校三年間を通じて生徒が自分自身を理解し、さまざまな情報を集め、将来設計を考えた上で自分の進路を考

の、名古屋大学理学部への現役合格は見事でした。また、私立大学では早慶上智MAR

傾向がみられる点が指摘されています。また、本校のよう

とついで、高校三年間を通じて生徒が自分自身を理解し、さまざまな情報を集め、将来設計を考えた上で自分の進路を考

の、名古屋大学理学部への現役合格は見事でした。また、私立大学では早慶上智MAR

傾向がみられる点が指摘されています。また、本校のよう

とついで、高校三年間を通じて生徒が自分自身を理解し、さまざまな情報を集め、将来設計を考えた上で自分の進路を考

の、名古屋大学理学部への現役合格は見事でした。また、私立大学では早慶上智MAR

傾向がみられる点が指摘されています。また、本校のよう

とついで、高校三年間を通じて生徒が自分自身を理解し、さまざまな情報を集め、将来設計を考えた上で自分の進路を考

の、名古屋大学理学部への現役合格は見事でした。また、私立大学では早慶上智MAR

傾向がみられる点が指摘されています。また、本校のよう

とついで、高校三年間を通じて生徒が自分自身を理解し、さまざまな情報を集め、将来設計を考えた上で自分の進路を考

の、名古屋大学理学部への現役合格は見事でした。また、私立大学では早慶上智MAR

傾向がみられる点が指摘されています。また、本校のよう

とついで、高校三年間を通じて生徒が自分自身を理解し、さまざまな情報を集め、将来設計を考えた上で自分の進路を考

の、名古屋大学理学部への現役合格は見事でした。また、私立大学では早慶上智MAR

傾向がみられる点が指摘されています。また、本校のよう

とついで、高校三年間を通じて生徒が自分自身を理解し、さまざまな情報を集め、将来設計を考えた上で自分の進路を考

の、名古屋大学理学部への現役合格は見事でした。また、私立大学では早慶上智MAR

傾向がみられる点が指摘されています。また、本校のよう

とついで、高校三年間を通じて生徒が自分自身を理解し、さまざまな情報を集め、将来設計を考えた上で自分の進路を考

の、名古屋大学理学部への現役合格は見事でした。また、私立大学では早慶上智MAR

傾向がみられる点が指摘されています。また、本校のよう

とついで、高校三年間を通じて生徒が自分自身を理解し、さまざまな情報を集め、将来設計を考えた上で自分の進路を考

の、名古屋大学理学部への現役合格は見事でした。また、私立大学では早慶上智MAR

傾向がみられる点が指摘されています。また、本校のよう

とついで、高校三年間を通じて生徒が自分自身を理解し、さまざまな情報を集め、将来設計を考えた上で自分の進路を考

の、名古屋大学理学部への現役合格は見事でした。また、私立大学では早慶上智MAR

傾向がみられる点が指摘されています。また、本校のよう

とついで、高校三年間を通じて生徒が自分自身を理解し、さまざまな情報を集め、将来設計を考えた上で自分の進路を考

の、名古屋大学理学部への現役合格は見事でした。また、私立大学では早慶上智MAR

傾向がみられる点が指摘されています。また、本校のよう

とついで、高校三年間を通じて生徒が自分自身を理解し、さまざまな情報を集め、将来設計を考えた上で自分の進路を考

の、名古屋大学理学部への現役合格は見事でした。また、私立大学では早慶上智MAR

傾向がみられる点が指摘されています。また、本校のよう

とついで、高校三年間を通じて生徒が自分自身を理解し、さまざまな情報を集め、将来設計を考えた上で自分の進路を考

の、名古屋大学理学部への現役合格は見事でした。また、私立大学では早慶上智MAR

傾向がみられる点が指摘されています。また、本校のよう

とついで、高校三年間を通じて生徒が自分自身を理解し、さまざまな情報を集め、将来設計を考えた上で自分の進路を考

の、名古屋大学理学部への現役合格は見事でした。また、私立大学では早慶上智MAR

傾向がみられる点が指摘されています。また、本校のよう

とついで、高校三年間を通じて生徒が自分自身を理解し、さまざまな情報を集め、将来設計を考えた上で自分の進路を考

の、名古屋大学理学部への現役合格は見事でした。また、私立大学では早慶上智MAR

傾向がみられる点が指摘されています。また、本校のよう

とついで、高校三年間を通じて生徒が自分自身を理解し、さまざまな情報を集め、将来設計を考えた上で自分の進路を考

の、名古屋大学理学部への現役合格は見事でした。また、私立大学では早慶上智MAR

傾向がみられる点が指摘されています。また、本校のよう

とついで、高校三年間を通じて生徒が自分自身を理解し、さまざまな情報を集め、将来設計を考えた上で自分の進路を考

の、名古屋大学理学部への現役合格は見事でした。また、私立大学では早慶上智MAR

傾向がみられる点が指摘されています。また、本校のよう

とついで、高校三年間を通じて生徒が自分自身を理解し、さまざまな情報を集め、将来設計を考えた上で自分の進路を考

の、名古屋大学理学部への現役合格は見事でした。また、私立大学では早慶上智MAR

傾向がみられる点が指摘されています。また、本校のよう

とついで、高校三年間を通じて生徒が自分自身を理解し、さまざまな情報を集め、将来設計を考えた上で自分の進路を考

## 2011年度（平成23年度）卒業生の大学・短大進学状況

	合格者	入学者	入学者内訳			
			一般入試	指定校推薦	公募制推薦	AO入試
国公立大学	20	19	14	1	3	1
私立大学	578	249	153	72	11	13
短期大学	13	12	2	4	3	3

## 2011年度 主な大学・短大合格者延べ数

大学名	現	卒	大学名	現	卒	大学名	現	卒
<b>国立大学(公立)</b>			関東学院大	7	1	明治学院大	16	11
宮城教育大	1		北里大	13	3	明治大	19	8
東京海洋大	1	2	杏林大	5	1	立教大	24	8
東京農工大	1		慶應義塾大	1	3	早稲田大	12	4
電気通信大	2		國学院大	2		<b>私立短大</b>		
横浜国立大	3	2	国際医療福祉大	12				
埼玉大	1		駒澤大	10	5	青山学院女子短大	2	
山梨大	1		芝浦工業大	7		鎌倉女子短大	1	
名古屋大	1		上智大	6	2	相模女子短大	1	
公立はこだて未来大	1		成蹊大	14	1	実践女子短大	1	
横浜市立大	2	1	成城大	9	1	湘南短大	1	
県立保健福祉大	3		専修大	27	4	湘北短大	1	
首都大学東京	2		玉川大	22	1	昭和音楽短大	1	
前橋工科大	1		中央大	27	4	女子美術短大	1	
<b>私立大学</b>			東海大	28	5	洗足こども短大	1	
			東京電機大	24	1	東京農大短大	3	
青山学院大	26	5	東京都市大	19	4			
麻布大	3		東京農業大	12	2			
桜美林大	10	1	東京理科大	7				
学習院大	1		東洋大	9	3			
神奈川工科大	7		日本大	25	3			
神奈川大	23	1	法政大	36	9			



# 叙 勲

おめでとうございます。

(敬称略)

藍綬褒章

佐野 友保(高18回)

(日本ボーイスカウト神奈川連盟副連盟長)

瑞宝双光章

水上 公之(高13回)

(消防)

高橋(曾我)勝孝(中20回)

(教育)

瑞宝単光章

昭順(高15回)

(鉄道業務)

# 春の異動

次の先生方が転退職されました。長い間、ありがとうございました。敬称略

【退職】

青野 輝雄

永野 千代子

川口 恒巳

伊藤 勇

南 敏章(相模原)

市川 範朗(県民局くらし文化部学事振興課)

竹田 淳(平塚湘風)

吉村 信彦(大楠)

川村 幸範(深沢)

内田 富子(足柄上教育事務所)

小林 忠行(平塚商業)

# 物故者

慎んでお悔やみ申し上げます。

【旧職員】(敬称略)

武田 孝 沼野 博

込山 純子 大矢 純夫

【会員】(敬称略)

中4相原用佐 中14伊藤芳司

中9太田正太郎 中14原 俊郎

中9廣澤富正 中15清水久男

中10渋谷康義 中16谷屋和夫

中12村上長世 中17尾登泰夫

中13小島茂明 中17鳥羽光忍

中13山田武夫 中18金子 聰

中18熊沢八郎 高5高田光昭  
中21三荒賢雄 高11水島 貞  
併1山田昭八 高17柴野 勝

(荒井) 高17中丸憲一

高1須山 孝 高17細川一夫

高3矢後一夫 高34中津川利昭

高5今井義人 高47林 智明

高5須山欣一 高50内田光一

# 過去5年間の卒業生寄贈品

書籍 杉本 幸雄(中20)

〃 青木 寿男(高2)

〃 加藤 秀弘(高23)

写真集 原 徹(中20)

絵画 額田(今井) 幸也(高5)

美術集 御代(岡村) 泰成(高6)

※一点本人の絵画掲載

茶器 内藤 優(高6)

他高6回生一同

講話資料 関口 俊郎(高7)

# 異動の

## 連絡通知を

近年不明者の数が多くなつて

います。その原因としては、

転居先住所が本部に未通知で

あること、現在使用されてい

ない旧住居表示であることな

どが考えられますが、他に会

員の死亡などの場合があります。

異動が生じた時は、ご面

倒でも本部までハガキや電話

などでご連絡をお願いいたし

ます。

# 原稿を

## お寄せください

同期会、クラス会だよりな

どの原稿を700字以内でお

寄せください。また、個人の

近況など、短くても結構です。

送付先 秦野高等学校同窓会

担当宛

# 編集後記

●今号では、今年度から制度

変更に伴う同窓会の会則・細

則を全文掲載しました。その

ため内容に多少の変化を来し

ました。

●来年の発行期日(総会の前

か後か)は検討中です。(青木

# 訂正とお詫び

本誌40号(7頁、第4段)

で、体育館を体育祭に訂正。

〒257-0004 秦野市下大槻 一三番地 県立秦野高等学校内

# 秦野高等学校同窓会

## 会報委員会

電話(〇四六三)七七一-四二二 振替口座 0120108122689

発行責任者 畑野公保(高7)

青木利之(高4) 榎本圭治(高2)

能條 剛(高17) 小泉広澄(高17)

山口知英(高33) 北村 卓(高20)